

平成 18 年 9 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社 SUMCO
代表者名 取締役社長 重松 健二郎
(コード番号 3436 東証第一部)
問合せ先 広報・IR 室長 石戸谷 宗一
(TEL . 03 - 5444 - 3915)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 7 月 31 日に公表しました平成 19 年 1 月期 (平成 18 年 2 月 1 日 ~ 平成 19 年 1 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 . 平成 19 年 1 月期連結業績予想数値の修正

(1) 中間期 (平成 18 年 2 月 1 日 ~ 平成 18 年 7 月 31 日) (単位 : 百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	130,000	33,000	29,000	17,500
今 回 修 正 予 想 (B)	130,803	34,032	30,157	47,796
増 減 額 (B - A)	803	1,032	1,157	30,296
増 減 率 (%)	0.6%	3.1%	4.0%	173.1%
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 7 月中間期)	100,906	19,354	16,428	8,618

(2) 通期 (平成 18 年 2 月 1 日 ~ 平成 19 年 1 月 31 日) (単位 : 百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	270,000	68,000	61,000	37,000
今 回 修 正 予 想 (B)	270,000	69,000	62,000	67,000
増 減 額 (B - A)	0	1,000	1,000	30,000
増 減 率 (%)	0.0%	1.5%	1.6%	81.1%
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 1 月期)	220,526	44,340	36,554	20,486

2. 平成 19 年 1 月期個別業績予想数値の修正

(1) 中間期 (平成 18 年 2 月 1 日 ~ 平成 18 年 7 月 31 日) (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	115,000	29,000	26,000	16,000
今回修正予想 (B)	114,973	29,728	27,242	42,749
増減額 (B - A)	27	728	1,242	26,749
増減率 (%)	0.0%	2.5%	4.8%	167.2%
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 7 月中間期)	88,529	18,588	15,812	9,550

(2) 通期 (平成 18 年 2 月 1 日 ~ 平成 19 年 1 月 31 日) (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	240,000	58,000	54,000	32,500
今回修正予想 (B)	240,000	59,000	55,000	59,000
増減額 (B - A)	0	1,000	1,000	26,500
増減率 (%)	0.0%	1.7%	1.9%	81.5%
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 1 月期)	190,312	41,338	34,188	20,766

3. 修正の理由

当社は、当社グループの米国事業を統轄していた持株会社 SUMCO USA Corporation (当社の連結子会社) の株式を過年度において評価減しており、当該評価減額は将来減算一時差異を構成しております。従来は当該一時差異の解消時期が不明であったため、当該一時差異に対する繰延税金資産は計上しておりませんでした。平成 18 年 9 月 12 日開催の当社臨時取締役会並びに同社の取締役会および株主総会による解散決議に伴い、同社の清算終了により同社株式の評価減額が当事業年度において税務上損金算入されることとなるため、その解消時期が明らかとなりました。このため、当社においては、当中間会計期間においても当該評価減額が税務上損金算入されるとみなして算定した結果、課税所得はなくなり、基本的に法人税等の計上もなくなるとともに、欠損金に対して繰延税金資産を計上することといたしました。

(1) 平成 19 年 1 月期連結業績予想

この結果、中間純利益が 29,771 百万円増加し、平成 18 年 7 月 31 日に公表しました数値より大幅に増加することとなりましたので、中間・通期の連結業績予想を修正いたします。

(2) 平成 19 年 1 月期個別業績予想

個別業績予想に与える影響につきましては、同社株式の貸借対照表計上額と同社解散に伴う残余財産分配額との差額を当中間会計期間における特別損失として計上することにより、税引前中間純利益が 3,550 百万円減少し、中間純利益は 26,221 百万円増加いたします。

この結果、中間純利益が、平成 18 年 7 月 31 日に公表しました数値より大幅に増加することとなりましたので、中間・通期の個別業績予想を修正いたします。

(注) 上記の業績予想は発表日現在において入手可能な情報に基づく数値であり、実際の業績は、今後の市場環境や販売動向その他の要因により予想と異なる場合があります。

以 上